

箕面市立みのお市民活動センター指定管理者 候補者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時：令和6年（2024年）10月17日（木）15時30分から17時
- (2) 開催場所：箕面市役所 本館2階 特別会議室
- (3) 出席者：浅井 文彦（人権文化部長）【会長】
村田 尚記（総務部長）【副会長】
北村 清（健康福祉部長）
柳原 健治（公認会計士・税理士）
坂東 希（大阪公立大学 准教授）
- (4) 事務局：人権文化部生涯学習・市民活動室
- (5) 応募者：特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお

2. 議事概要

- (1) 挨拶の後、当日スケジュール及び評価等について、事務局より下記のとおり説明を行った。

<当日スケジュール>

1. 応募者によるプレゼンテーション（15分）
2. ヒアリング（15分）
3. 採点
4. 集計
5. 集計結果の報告、講評、合議による指定管理者候補者選定

<採点方法>

応募書類及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて以下のとおり採点する。（300点満点）

- ・提案金額に関する評価（A）（定量評価）（100点）
- ・団体、施設の管理運営に関する評価（B）（定量評価）（100点）
- ・提案内容に関する評価（C）（定性評価）（100点）

- (2) 応募者の提案内容プレゼンテーションについて

応募者「特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお」

上記1団体がプレゼンテーション（提案内容の説明）を実施。

- (3) ヒアリングにおける質疑について

●応募者「特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお」に対しての質疑については以下のとおり。

(質問) 継続して4期間で20年間指定管理を続けているが、振り返ってみて最も苦労した支援は何か。

(回答) 当センターの設立当初は存在の周知に苦労し、イベントの開催などを持って存在を知ってもらった。また、コロナ禍でNPO法人が活動を休止する中、どのような支援をすべきか、中間支援組織として市民活動センターの意義を考える機会となった。

(質問) 今後円安などで物価上昇となる可能性があり、支出の部の経費が増大する収支計画を作成しているが、収入の部を増やすことについてはどう考えているか。

(回答) 収入の部を増やすには、利用料金収入がメインになるかと思うが、施設利用は、需要がある時間帯は利用率が高く、これ以上上げるのが難しい。夜間の時間帯で利用者を見つけることを考えているが、数が少ないため収入増には繋がらない。また、事務ブースや貸しロッカーはほとんど使用されており、現在以上の大幅な収入の増加は見込めない。

(質問) 災害が起こった際の役割はどのように担っていく予定か。

(回答) 当センターはボランティアに係る中間支援組織として、社会福祉協議会、青年会議所及びライオンズクラブと災害発生時に備えたシミュレーション訓練を年に一回行っている。災害が起こった際は、当センターとボランティアセンターが並立して運営することを想定している。大阪府北部地震の際には、当団体から社会福祉協議会に人材派遣も行った。

(質問) これまでにあった利用者の苦情内容やそれに対する対応はどうしているか。

(回答) 施設に関する苦情はほとんどなく、新駅開業に伴う自転車置き場の不足など施設管理に直接関係のない苦情が多いため、関係各所に引き継いでいる。また、施設に関する苦情があった際は、内容と対応策を職員間で共有している。

(質問) 市内の居住者の雇用について今後の予定は。

(回答) 最近雇用した非常勤スタッフは市内居住者であった。募集時は、市内居住者に限定しない方針だが、今後常勤スタッフを1人雇用する際は市内居住者を雇用したいと考えている。

(質問) 人材育成等について、今後はどのような研修計画を想定しているか。

(回答) 外部の講座に派遣することが多いので今後も継続していきたい。中間支援のスタッフ育成としては、北摂での伴走支援「ともにプロジェクト」において、複数人が業務に携わることで人材育成を行っており、参加者から事務局内へその内容を共有している。人権研修やその他の研修についても引き続き事務局内で研修の情報共有を図っていきたい。

(質問) パワー・ハラスメントについて、事務局長が相談員となっていると記載があるが、近年は相談員を第三者にしている団体が増えていることについて、どう考えているか。

(回答) 外部の窓口を作ることについて、今後検討していきたい。現在は社会保険労務士に相談を行っているため、そちらにも意見を聞こうと思う。

(質問) 新駅開業によって窓口への来客が増加しているなかで、利用者層を分析し、NPO 法人の担い手を見つけていく必要があるのではないかと。

(回答) 利用者増加に繋がるような利用者層の分析を今後行っていきたい。

(質問) 特定提案で市民が参加できるボランティア作りについて提案があるが、参加実績や毎年何人ずつ増やしていきたいなどの目標があれば、教えてほしい。

(回答) 具体的な人数は不明だが、v-info を通して月に数人の参加がある。今後の展望については、ボランティアの中にも専門的な知識を持つ人もいるため、講師をしていただくなど繋がりを広め、実績の数値化にも取り組みたい。

(質問) 個人情報の取り扱いが多いのか。今回提出された個人情報の取り扱いの規程について、特定個人情報しかないため、通常の個人情報の取り扱いの規程がないのが気になっている。

(回答) 今後作成を検討する。

(質問) 次期指定管理者候補者に選定された際に新規に取り組んでいこうと考えていることはあるか。

(回答) 公共的空間を利用した市民活動の場の創出など、現指定管理期間で実施を予定していた事業で、コロナ禍で十分にできなかったイベント（「Bar Bridge」など）をさらに展開していきたい。また、若い人へのボランティア活動の普及について、新駅開業もあり、大学生などが身近にいる環境を生かして、強化を行いたい。

(質問) 決算について、2022 年と 2023 年のセンター事業費が赤字だが、要因は。

(回答) コロナによって利用料収入がかなり減少したことが影響している。今回の委託料の計画では、赤字だったことも加味して積算をしている。

(質問) 委託料の増額を提案されているが、この提案内容で選定された場合、市としても委託料について協議が必要となる。協定書締結までの間に、金額について市との協議に応じることは可能か。

(回答) 可能である。

(4) 各評価者の主な意見

- ・人件費の上昇や物価高騰などの経費を見込んでいるが、収入は据え置きで、増額を余り見込んでいないように思われた。ただし、高騰分の経費については極端な数字ではない。
- ・当団体の主な事業は市民活動センターの運営のみのため、自主事業はあるものの支出の増額に対する補填が難しいと考える。長年管理を行ってきており安定感があるが、課題に対して取り組む姿勢が弱いため、長期的なビジョンを持って進めてもらおうとよりよくなると思う。
- ・次期はこんなことに取り組みたいという具体的な提案があれば良かった。
- ・事業の実績を明確化していく方が、より市民への貢献度が分かり、さらなる支援に繋がりやすいと思われる。苦情対策マニュアルを作ってはどうか。
- ・実績の取り方が見えてこないところはあるが、安定はしている。北摂各市と連携した「ともにプロジェクト」は新しい動きで評価できる。将来的に箕面市内の活動にとどまらず、周りを巻き込み大きな輪を作してほしい。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション及びヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

【応募者：特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお】

評価点数 205.2点／300点（第1位）

上記点数に基づき判断した結果、応募者の「特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお」が箕面市立みのお市民活動センター指定管理候補者として適任である。